

## 飯豊中学校長寿命化改良工事について、現予算額に対し工事費が不足しているため、6月補正計上するもの

### 1 長寿命化改良工事の内容・経緯

#### 長寿命化改良工事とは

物理的な不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修方法（R4中学校施設整備指針より）

※国では今後30年の使用することが補助要件となっている

※市最適化計画では、**建築から40年を目途に整備し、80年使用すること**を目標としている

#### これまでの経緯

- ・ 当市建築物最適化計画に基づき小中学校整備を実施
  - 飯豊中学校長寿命化はR3：設計、R4～R6：改修として計上
- ・ 予算調整の結果、R4：設計、R5～R7：工事として予算配当
  - 最適化計画から1年後倒しで実施
  - 工事費はR1.10時点での積算額で計上
- ・ R4.7.7 実施設計契約（履行期間：R4.7.7～R5.3.3）
- ・ R5.2.16 国庫補助金（R5年度分）が前倒し決定（95,872千円）
- ・ R5.3.2 事業予算を補正計上（3月議会初日）
  - 国庫補助金の前倒し決定を受けての補正予算計上
  - 継続費を設定し3カ年分を一括発注（過去長寿命化実施の南小、江釣子中は年度毎に契約）
  - 改修工事費、監理委託料、仮設校舎賃借料、手数料を計上
  - 週休2日モデル工事の対象
- ・ R5.3.29 仮設校舎の30ヶ月のリース契約締結
  - 学校活動と並行しての工事となるため、仮設教室を手配
  - R5.10月から使用開始

### 2 補正内容

実施設計の結果、

現予算額：1,425,303千円（週休2日分+5%を含む）に対し、  
設計工事費：1,745,517千円 差額：320,214千円（約24%）

増額理由：詳細設計完了に伴う金額確定による

①物価高騰

・ R5年10月-R5年5月比で建築資材費が約30%の増

②外壁塗材への石綿（アスベスト）含有判明による工事費増

・ 約104,000千円増

・ 詳細設計での調査結果、外壁塗材への石綿含有が判明

・ 大気汚染防止法及び労働安全衛生法等に基づき対応が必要

#### 6月補正計上内容

不足分工事費の増額、継続費の補正

・ 不足分320,214千円を3カ年均等割り（各106,738千円）

・ 発注時期遅延による影響小

- 決定済みの国庫補助完了は可能

- 校舎工事は当初から仮設教室引渡後に実施予定のため影響無し

- 屋体工事のR5年度実施分は外部改修（屋根・外壁等）

工区	R5(1期)	R6(2期)	R7(3期)	全体
補助対象面積	校舎:1,226㎡ 屋体:329㎡	校舎:1,543㎡ 屋体:766㎡	校舎:1,770㎡ 屋体:0㎡	校舎:4,539㎡ 屋体:1,095㎡
補正前	468,101千円	489,101千円	468,101千円	1,425,303千円
補正後	574,839千円	595,839千円	574,839千円	1,749,517千円
差額	106,738千円	106,738千円	106,738千円	320,214千円

### 3 今後の日程

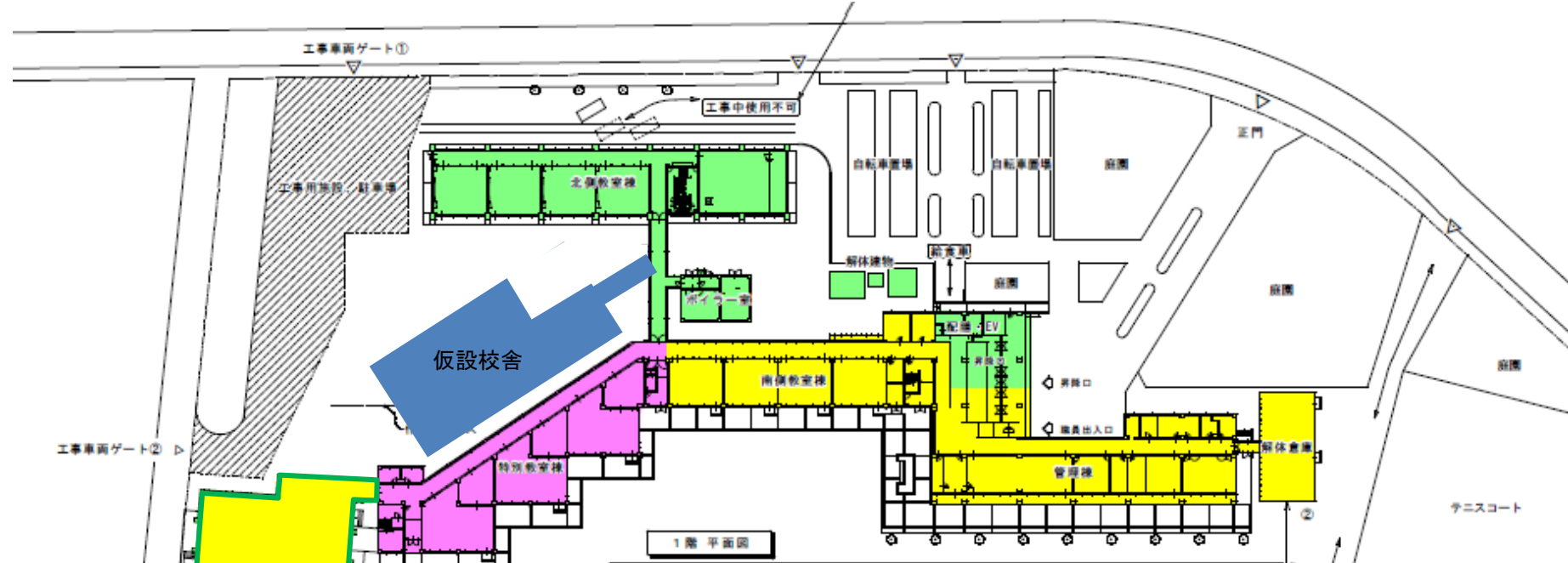
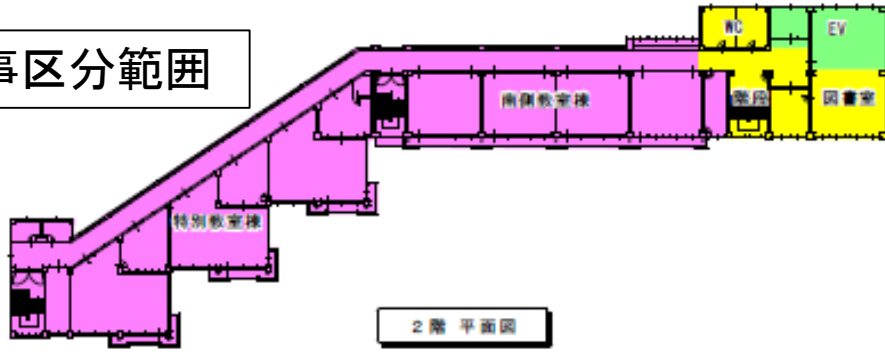
R5.6.29 6月補正成立

R5.8.22 仮契約

R5.7.4 契約依頼

R5.8.31 議決承認（9月議会初日）

# 参考資料1: 工事区分範囲



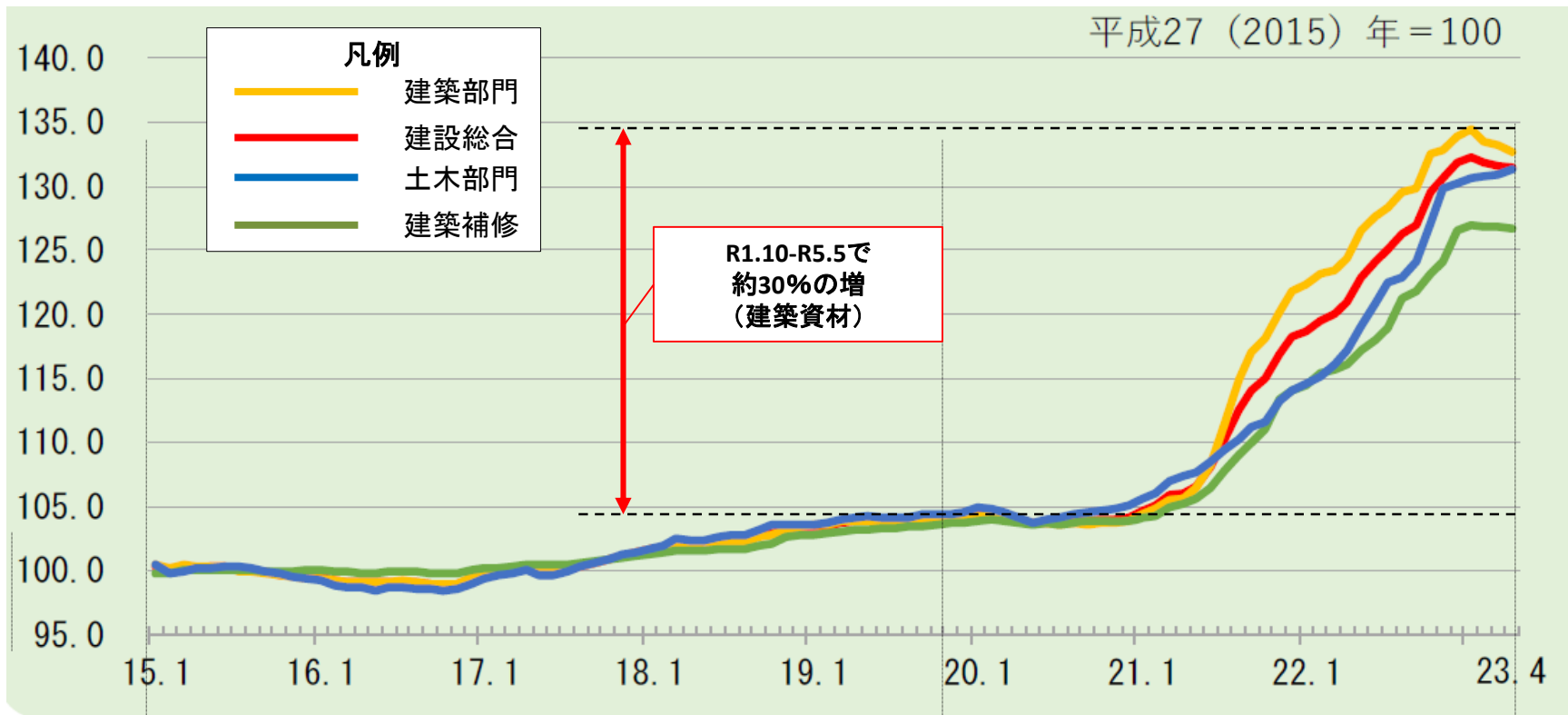
凡例

<span style="color: green;">■</span>	・・・R5年度(第1期)
<span style="color: yellow;">■</span>	・・・R6年度(第2期)
<span style="color: magenta;">■</span>	・・・R7年度(第3期)

屋体  
外部1期目  
内部2期目

# 参考資料2: 資材上昇の推移

元データ: (一財)建設物価調査会HP  
基準(指数:100): 2015年1月



- 凡例
- 建築部門
  - 建設総合
  - 土木部門
  - 建築補修

R1.10-R5.5で  
約30%の増  
(建築資材)

R1.10月時点の数値が予算積算の基準となっている

2015年 (H27) 1月

2019年 (R1) 10月

2023年 (R5) 5月

【建設資材2015-2023推移】  
(地域: 東京)